

平成 21 年 1 月 14 日

「社会人の学び直し講座」他校訪問調査報告書

相手校：法政大学

事業の名称：転職・再就職希望者に対する「トータルキャリア教育」

日 時：平成 21 年 1 月 13 日（火）10：00～11：10

場 所：法政大学 東京都千代田区富士見 2 - 17 - 1（〒102-8160）

対応者：喜嶋 康太氏（市ヶ谷事務課課長補佐）

内田 貴之氏（市ヶ谷事務課主任）

訪問者：工藤 康紀

報告内容

（1）応募の背景・動機

- ・ 法政大学には、キャリアデザイン学部がある。また、これまでに東京商工会議所の会員に加盟しており、さらに、日本商工会議所と基本合意書を締結している。これらの資源を活用して、社会人、第二新卒者、主婦、フリーター等の転職・再就職希望者に対して「トータルキャリア教育」を実施する。
- ・ 社会的には、「生涯一企業」という価値観が変遷して、自分に対する期待感が実感できないと躊躇せず離職し、他業種の企業に転職するという素地ができつつあると考えている。

（2）運営体制・組織

- ・ 実施体制：運営委員会メンバー（キャリアセンター長、キャリアセンター副センター長、キャリアセンター次長 2 名、キャリアセンター課長補佐、日本商工会議所事業部長及び部員 1 名、株式会社キャリア工学ラボ取締役副社長）が統括し、事務は、法政大学キャリアセンター（主任、委員各 1 名）が担当している。

（3）事業内容

- ・ プログラムは、次の 3 つのコースからなる。

ベーシックコース（キャリアプランニング）・・・ 6 時間× 2 日 + カウンセリング 50 分 / 1 人

株式会社キャリア工学ラボに再委託。カウンセリングとワークショップにより個別のキャリアアッププランを作る。

スキルアップコース・・・ 3 時間× 3 日 + カウンセリング 50 分 / 1 人

株式会社キャリア工学ラボに再委託。職業人として最低限必要なベーシックスキルを学習。コミュニケーションスキル、プレゼンテーションスキル、チームワークの作り方等。

アドバンスドコース・・・ 1 時間半× 1 1 日、3 時間× 2 日 + カウンセリング 50 分 / 1 人

株式会社キャリア工学ラボに再委託する講座 9 回、読売新聞社に依頼 1 回と法政大学の教員が 3 回。

職務履歴書の書き方、自分を分かってもらえる面接とは...、今後の日本経済と雇用環境、仕事とキャリアのとらえ方、等々。

この間、商工会議所の特別プログラムによる e ラーニング（4 ヶ月間随時）を実施。講座終了後に、東京商工会議所によるジョブフェア（1 回）を実施。講座終了 2 ヶ月後にフォローアップ研修会を実施。

- ・ 講座実施場所...株式会社キャリア工学ラボ、法政大学
- ・ 受講料...無料
- ・ 応募資格：学士取得者（現在定職を持っている大卒生）、定員 48 名。

ただ、実際の応募者は、大卒の社会人、第二新卒者、主婦、フリーター等の転職・再就職希望者。

- ・ 受講者の募集方法、広報活動・・・大学報、大学ホームページ、東京メトロガイド広告、新聞広告、読売新聞インターネット広告。1年目は、定員割れしたので、2年目は、地下鉄電車の中吊り広告に載せた。
- ・ アンケート・・・応募の段階で、詳しい履歴書、アンケートを書いてもらう。各コース終了ごとにアンケートを実施。その他随時。
- ・ 講座講師について・・・外部委託、法政大学教員等
- ・ 講師の補助者・・・大学院学生のアルバイト
- ・ 修了認定、修了証書・履修証明等・・・規定の時間数をクリアした人に対し、「履修証明書(履修証明)」を授与。法政大学キャリアセンター、日本商工会議所、東京商工会議所の連名で発行している。
- ・ これまで実施してきて、48名の募集に対して定員割れしている。
- ・ 2007年度...30名受講し、25名が修了、2008年度...39名受講し、30名が修了。

(4) 評価体制等

- ・ 評価は、自己評価(法政大学キャリアセンター長)、法政大学常務理事会評価、日本商工会議所会頭評価の3つからなる。
- ・ 1年目の修了者25名(男13名、女12名)のうち、6名が転職を果たした。

(5) その他

- ・ 苦労している点...定員割れしていること。受講者のモチベーションを高めるのが大変。グループワークを入れて、受講者同士の元気付けを促進している。

工藤の感想等

- ・ 本校のプログラムでも、地場の中小企業との面談の機会(マッチング)を設定してはどうか?(これまでの全受講者を対象にして) >>> テクノフォーラム企業と受講者との面談???
- ・ 日本商工会議所のeラーニングを使うことができるか??
- ・ カウンセリングをもっと積極的に行う。プランニングの仕方、意識の作り方